

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23002	事業名	アプリdeウェルネス推進事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費	
		施策の方向	01:「健康都市」の推進			項	01:保健衛生費	
重点プロジェクト		01:「健都さぶり+」プロジェクト		目		01:保健衛生総務費		
事業期間	R 5 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	健康意識の向上を目的とした健康マイレージ事業は、参加者の6割以上が高齢者層であり、生産年齢人口層の参加が乏しいことから、全ての世代がより参加しやすい環境づくりと、自身の健康情報を見る化させるため、現行のアナログ方式をデジタル方式へと転換させる必要がある。	[個人] 亀山市在住若しくは在勤者の18歳以上の方 [事業者] 亀山市内に所在する従業員50人以下の中小企業及び小規模企業の事業者かつ協会けんぽ三重支部へ健康事業所宣言を行っている事業者	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる実践の場や事業者が経営的視点から実施する健康管理(健康経営)を実践する環境を構築することで、自身(自社)の健康に対する意識向上や、健康習慣の見直しを図り、主体的な健康活動を行っている。	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる歩数計・ポイント管理機能等を有するアプリを活用した健康習慣づくり支援の実施。事業所の健康経営を推進するため、また、生産年齢人口層の積極的な参画を図るため、アプリ等も活用した健康経営支援制度を構築する。収集データを、計画策定や成果指標の算出などへ活用する。

年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○アプリの導入 ○アプリを活用した健康習慣づくり支援		○アプリを活用した健康習慣づくり支援 ○健康経営支援 ○特産品交流事業 ○ウォーキング促進事業		○アプリを活用した健康習慣づくり支援 ○健康経営支援 ○政策間連携の検討 ○特産品交流事業 ○ウォーキング促進事業		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		健康マイレージアプリを9月に公開し、年度末までに目標指標の計画値を超える1,123名の方に登録いただき、個人の健康づくり支援に寄与した。また健康経営支援制度の制度設計を前倒しで行い、令和6年6月からの運用開始に向け、調整を図った。政策間連携を前倒しで行い、他部署の行事等でアプリ内ポイント付与する等、政策目的を超えて横断的に連携した。		健康マイレージアプリの運用において、周知啓発を行うとともに、健康都市連合日本支部の会員自治体間で特産品を交換し、抽選の景品としたことで計画値を超える登録があり、アプリを活用した主体的な健康習慣づくりに寄与した。さらに、健康経営支援制度を創設し、市内中小事業者へ周知啓発を図った他、地域まちづくり協議会単位で市内33箇所のウォーキングコースを作成した。				
計画額	事業費	国・県支出金		9,500千円	8,786千円	4,500千円	4,500千円	5,200千円	
		地方債				4,400千円			
		その他							890千円
		一般財源		9,500千円	4,386千円	4,500千円	4,500千円	4,310千円	
	決算額	事業費			8,308千円	3,991千円			
	国・県支出金			3,643千円	0千円				
	地方債			0千円	0千円				
	その他			600千円	0千円				
	一般財源			4,065千円	3,991千円				
①期間内計画額(R4-7)		19,200千円	②期間外計画額(R8-)		-	①+②総計画額		19,200千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	4,500千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	健康マイレージアプリダウンロード数	成果	人	計画値		1,000	1,500	1,800
				実績値		1,123	1,555	
健康経営支援制度登録事業所数	健康経営支援制度へ登録した累計事業者数	成果	事業者	計画値			10	10
				実績値			4	
地域まちづくり協議会主催のウォーキングイベント数	ウォーキングマップを活用したウォーキングイベントの回数(年度毎)	成果	回	計画値				22
				実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	B 健康マイレージアプリの活用により、市民の健康意識が向上し、主体的な健康習慣づくりに寄与した。また、他部署開催のイベントにおいて、マイレージアプリポイントを付与することで、事業間での相互周知と集客に効果があり、計画値を超えるアプリの登録につながった。さらに、健康経営支援制度を創設し、市内の中小事業者が健康経営を実践できるよう支援することで、幅広い世代の健康増進に貢献した。
まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
〔個人〕亀山市在住若しくは在勤者の18歳以上の方 〔事業者〕亀山市内に所在する従業員50人以下の中小企業及び小規模企業の事業者かつ協会けんぽ三重支部へ健康事業所宣言を行っている事業者	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる実践の場や事業者が経営的視点から実施する健康管理(健康経営)を実践する環境を構築することで、自身(自社)の健康に対する意識向上や、健康習慣の見直しを図り、主体的な健康活動を行っている。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	健康マイレージアプリの更なる利用者増を目指し、広く周知を行うとともに、アプリ内コンテンツの充実や健康経営支援登録事業所の増加を図り、幅広い世代が利用しやすい環境を整える必要がある。また、令和6年度に作成した各地域まちづくり協議会単位のウォーキングマップを活用したイベントを実施する際、市主導ではなく、地域主導の活動として定着させるための働きかけが必要である。さらに、市内事業者への健康経営の有効性や市の支援による具体的な効果の周知が不十分であるため、今後はより効果的な周知啓発に努める必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 健康マイレージアプリの更なる利用者増を目指し、引き続き広く周知を行うとともに、亀山商工会議所や全国健康保険協会と協力し、健康経営支援登録事業所の増加を図る。	令和8年度以降で対応するもの ウォーキングマップを活用したイベントなどを各地域まちづくり協議会で行っていただくよう働きかけるとともに、引き続き利用者の拡大に向けた取り組みを行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
〔履歴〕 成果判定		A	B	
事業展開		継続(拡大)	継続(現状維持)	

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康都市推進GL 平形 義朗
最終評価者	健康福祉部 健康政策課 課長 櫻井 ころ